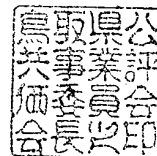


鳥評委第3号
令和7年1月29日

鳥取県知事 平井 伸治 様

鳥取県公共事業評価委員会
会長 猪迫 耕二



令和6年度公共事業の事前評価及び再評価について（答申）

令和6年8月20日付第202400093370号で諮問のあった事前評価事業2件及び再評価事業3件について、下記のとおり答申します。

なお、当該事業のみならず公共事業の実施に当たっては、効率的・効果的に執行されるよう期待します。

記

1. 事前評価事業

(1) 一般国道482号道路改築事業（森坪工区）

計画の妥当性	妥 当
事業の概要	<p>一般国道482号は、鳥取市南部地域と岡山県北地域を結ぶ幹線道路であり、緊急輸送道路にも指定されている。また、バス路線として佐治町と鳥取市方面を結ぶ生活道路や佐治アストロパークなどの観光地を結ぶ観光道路としての役割も担っている。加瀬木地区には行政機能の中心となる鳥取市佐治町総合支所があり、豪雨・豪雪時の避難道路として利用することから、重要な路線に位置付けられている。</p> <p>森坪地区から高山地区にかけては、土砂崩落や豪雪等の異常気象に起因した度重なる通行止めが発生している。</p> <p>本事業は、安全安心な地域住民の生活を確保するため、生活道路や避難道路としての機能を維持するとともに、線形不良により交通の隘路となっている未整備区間を3車線化し防災機能を高め通行止めのリスクの解消を図り、交通の円滑化と安全性の向上を目的として整備する事業である。 (計画延長L=1,060m、幅員=8.25(9.75)m、事業費25.9億円)</p>
審議の概要	<p>当該事業区間は、度々異常気象により被災し通行が困難となっていることから、これを考慮した3つのルートが検討されていた。</p> <p>これらのルート案について、合目的性、適切性、コスト縮減の取り組み、費用対効果等について検証を行った。また、審議にあたっては、現地にて通行止めとなるリスク等を確認した。更に緊急輸送路やライフラインとしての機能など費用便益比のみでは表せない定性的効果及び防災機能も併せて検証し、審議した結果、当事業計画は妥当と判断した。</p>
付帯意見	<p>本事業は、ルート変更を伴わない現道上での防災対策を主たる目的とした事業であり、地域の幹線道路であっても山間地の交通量が多くない条件不利地であることから、基本3便益（走行時間の短縮、走行経費の減少、交通事故の減少）により算定した費用便益比は、非常に小さい値となって</p>

	<p>いる。 今後、このような地域において道路整備の必要性を県民にわかりやすく説明するために、基本3便益だけでなく事業や地域の特性を踏まえた拡張便益を加えることを検討していただきたい。</p>
--	---

(2) 主要地方道津山智頭八東線道路改築事業（大呂4工区）

計画の妥当性	妥 当
事業の概要	<p>主要地方道津山智頭八東線は、岡山県津山市から八頭郡八頭町へ至る幹線道路であり、智頭町八河谷集落及び芦津集落と智頭町中心部及び鳥取市方面を結ぶ唯一の生活道路（スクールバス路線）でもある。また、国定公園に指定され県内有数の景勝地である芦津溪谷への観光道路としての役割を担っている。</p> <p>現道に並走する北股川左岸側の背後斜面において地すべりが発生しており、異常気象時には、現道への土砂崩落等により度重なる通行止めが生じている。現在も地すべり活動は継続しており、今後も地すべり発生時の崩落土砂による道路埋塞や北股川の土砂ダム形成による通行不能の恐れがあるため、この区間の迂回路を整備することで上流集落の孤立を解消する。併せて、生活や災害時の避難道路としての機能を維持するとともに、交通の隘路となっている未改良期間を解消し、安全安心な地域住民の生活を確保することを目的として整備する事業である。 (計画延長L=404m、幅員W=6.0(8.0)m、 事業費16.0億円)</p>
審議の概要	<p>当該事業区間は、地すべり発生時に北股川が土砂により埋塞し湛水する箇所であり、これを配慮した3つのルートが検討されていた。</p> <p>これらのルート案について、合目的性、適切性、コスト縮減の取り組み、費用対効果等について検証を行った。また、審議にあたっては、現地にて地すべりによる通行止めとなるリスク等を確認した。更にライフラインとしての機能など費用便益比のみでは表せない定性的効果及び防災機能も併せて検証し、審議した結果、提案された計画は妥当と判断した。</p>
付帯意見	<p>本事業は、大幅なルート変更を伴わない防災対策を主たる目的とした事業であり、地域の幹線道路であっても山間地の交通量が多くない条件不利地であることから、基本3便益（走行時間の短縮、走行経費の減少、交通事故の減少）により算定した費用便益比は、非常に小さい値となっている。</p> <p>今後、このような地域において道路整備の必要性を県民にわかりやすく説明するために、基本3便益だけでなく事業や地域の特性を踏まえた拡張便益を加えることを検討していただきたい。</p>

2. 再評価事業

(1) 一般国道313号道路改築事業（北条倉吉道路（延伸））

継続・休止・中止等の方針	継 続
事業の概要	<p>一般国道313号北条倉吉道路は、鳥取県中部地方と岡山県真庭地方を結び、「山陰道」や中国横断自動車道岡山米子線「米子自動車道」等と一体となって広域的な高速道路ネットワークの形成する地域高規格道路「北条湯原道路」の一部を構成する路線である。</p>

	<p>本事業は、一般国道9号と平面交差で接続している一般国道313号北条倉吉道路について、山陰道「北条道路」の整備に合わせて、自動車専用道路を相互に立体交差で接続する北条ジャンクション（仮称）を整備し、円滑で快適かつ安全性と利便性の高い道路を整備する事業である。 （計画延長L=0.4km、幅員=6.5（11.0）m、事業費130.0億円、進捗率81.1%）</p>
審議の概要	<p>本事業について、事業費の増額や最新の将来交通量の推計結果等を踏まえた費用便益比の再算定について検証を行った。また、審議にあたっては、事業の進捗状況や事業費増額の要因などについて現地で確認した。更に地域振興や災害時の緊急輸送路・迂回路としての防災機能など費用便益比のみでは表せない定性的効果も併せて検証し審議した結果、継続が妥当と判断した。</p>
付帯意見	なし

(2) 大規模特定河川事業（砂田川）

継続・休止・中止等の方針	継続
事業の概要	<p>鳥取市杉崎地内を流下する砂田川は、大路川の支川であり、概ね50年に1度発生する規模の降雨に対し、流下能力を確保することが困難な状況にあり、浸水被害が生じる恐れがある。 本事業は、必要とする河川断面の確保とこれに伴う鉄道橋の架け替えを含めた関連区間の護岸整備を行うことにより、洪水から流域の宅地、農地や老人保健施設、県道などの公共施設を守り、住民の生活や地域の経済活動を支える社会基盤を守ることを目的とし、令和10年度の完成を目指して整備中の事業である。 （計画延長L=250m（護岸工250m、橋梁架け替え1橋）、事業費16.7億円、進捗率7.8%）</p>
審議の概要	<p>本事業については、河川の整備規模（確率年）による浸水想定に関するシミュレーション結果に基づいた事業効果、費用便益比の再算定について検証を行った。また、審議にあたっては、事業の進捗状況や鉄道橋梁の架け替え等整備上の課題を現地で確認し審議した結果、継続が妥当と判断した。</p>
付帯意見	なし

(3) 大規模特定河川事業（水貫川排水機場）

継続・休止・中止等の方針	継続
事業の概要	<p>水貫川下流域において、昭和62年に氾濫による床上浸水被害が発生した。 本事業は、排水機場の整備により、床上浸水被害の解消または軽減を図ることを目的として、令和8年度の完成を目指して整備中の事業である。 （排水機場整備一式、事業費29.2億円、進捗率54.1%）</p>

<p>審議の概要</p>	<p>本事業については、既設排水機場の活用を含めた新規排水機場の整備手法、河川の整備規模（確率年）による浸水想定に関するシミュレーション結果に基づいた事業効果、事業費の増額に伴う費用便益比の再算定について検証を行った。また、審議にあたっては、事業の進捗状況や地形上の課題などを現地で確認し審議した結果、継続が妥当と判断した。</p>
<p>付帯意見</p>	<p>なし</p>